

「死」が「生」と「幸福」を照らし、そこに物語が生まれる
2年ぶりの小説『四月になれば彼女は』発売記念

川村元気の思考術・仕事論とは

『未来授業』12月5日(月)～8日(木) 19:52～20:00 放送

『未来授業 SUNDAY CLASS』12月11日(日) 5:30～6:00 放送 ※総集編

日本が世界に誇る「知のフロントランナー」を講師に迎えて、未来を生き抜く智恵を探るプログラム「未来授業」では、12月5日(月)～8日(木)、11日(日)の放送回に小説家の川村元気を迎えます。今年製作した映画『君の名は。』が大ヒット、そして2年ぶりの新作小説『四月になれば彼女は』が発売されたばかりの川村元気が、その「思考術」「仕事論」を語ります。

12月5日(月)からの放送を、どうぞお楽しみに。

◆「物語の続きを読者や観客が語り出し、僕の手を離れていくことが理想」



2016年を代表するヒット作となった映画『君の名は。』プロデューサーで小説家の川村元気はこれまでも『告白』『モテキ』『バケモノの子』『バクマン。』など数々のヒットを生み出してきました。その思考術や、仕事論について語りました。

「『バクマン。』でのサカナクションや『君の名は。』でのRADWIMPSが顕著ですが、人の感情を動かすのとはときに映像より音だと思っています。そうやって、“つくり方からつくる”。誰かが考えたことがないつくりかたを考え出す、ということを大事にしています。そして届けたいメッセージによって“映画”“小説”“絵本”など表現手段を分けています」

2年ぶりの新作小説『四月になれば彼女は』が発売されたばかりですが、「恋愛について僕が知りたかったことを、書きながら気づいていく記録のような小説になりました。僕がつくるものは映画も小説も、答えを読者や映画を観た人にゆだねています。物語の続きを、読者や映画を観た人が語り出す。そうして僕の手を離れていく…物語は、そうあるべきだと思うんです」

さらに仕事に関しても、独自の見解を述べますが、果たしてそれはどのようなものなのでしょうか？
12月5日からの放送を、どうぞお楽しみに。

《番組概要》

◇タイトル: 『未来授業』(月～木)19:52～20:00 放送)

『未来授業 SUNDAY CLASS』(日 5:30～6:00 放送)

◇放送局: TOKYO FM

◇内容: TOKYO FMをはじめとする JFN38 局が毎年開催している、大学生を対象としたインタラクティブ型公開授業「FMフェスティバル 未来授業～明日の日本人たちへ」のレギュラー番組。日本が世界に誇る「知のフロントランナー」を講師に迎えて、未来の日本人たちへ送るアカデミックな授業をお届けします。

◇提供: NEC、川口技研 ◇ホームページ: <http://www.tfm.co.jp/podcasts/future>

【新作情報】

『世界から猫が消えたなら』『億男』の著者・川村元気、2年ぶりの最新小説

『四月になれば彼女は』



4月、はじめて付き合った彼女から手紙が届いた。

そのとき僕は結婚を決めていた。愛しているのかわからない人と——。

天空の鏡・ウユニ塩湖にある塩のホテルで書かれたそれには、恋の瑞々しいはじまりとともに、二人が付き合っていた頃の記憶が綴られていた。

ある事件をきっかけに別れてしまった彼女は、なぜ今になって手紙を書いてきたのか。時を同じくして、1年後に結婚をひかえている婚約者、彼女の妹、職場の同僚の恋模様にも、劇的な変化がおとずれる。

愛している、愛されている。そのことを確認したいと切実に願う。けれどなぜ、恋も愛も、やがては過ぎ去ってってしまうのか——。

失った恋に翻弄される12カ月がはじまる。

胸をえぐられる、切なさが溢れだす。

『世界から猫が消えたなら』『億男』の著者、2年ぶりの最新刊。

川村元気・著

定価:本体 1,400円+税

判型:四六判